

アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対

署名(オンライン&署名用紙)

推進ニュース

みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2021/9/22

No. 8

賛同署名総数は

9/22まで

9,827

*オンライン署名

3,708

*署名用紙署名

6,119

人
人
筆

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>

オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。HPまたは事務局へお問い合わせをお願いします。



スマホはこちらから



みやぎ生協・コープふくしまは
東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水
(冷却水などの汚染水)の海洋放出に反対です。
反対署名運動へのご協力をお願いします



◇2021/9/8 オンライン学習会が開催されました。
～全国から250名を超える方々に参加していただきました。
「豊かな海を後世に引き継ぐために」
講師:福島大学食農学類 林 薫平 准教授

●しんぶん赤旗2021/4/13



▶福島の漁業

2012年に始まり地道に進めてきた「試験操業」から、「本格操業」へ踏み出したタイミングでのALPS処理水海洋放出決定。漁業復興に向けて魚種・海域・漁獲量を段階的に拡大し、地道な努力を進めてきた。海洋放出されれば、これまでガラス細工のように積み上げてきた漁業復興の前提が根本から崩れるのではないかと懸念がある。「築城10年、落城1年」という地元漁業者の言葉に真意が込められている。2020年政府の小委員会(処理水の処分方法の検討)で優位性を提言した「海洋放出」について、福島県漁連の会長は「災害がもう一度来るようなもの」と反対の立場を強調した。その立場は今も変わらない。

▶処理水対策

経済産業省が3年余りにわたって開いた専門家による小委員会の議論を振り返ると、結論ありきで決めた印象が拭えない。長期化や漏洩の恐れから『地下貯蔵』の選択肢を否定しているのに、海洋に放出するという矛盾。
汚染水対策である地下水バイパス、サブドレン排水の実施協議の際、福島県漁業協同組合連合会は「国民の理解が得られない海洋放出は絶対に行わないこと」を政府と東電に要望し、「多核種除去設備で処理した水は発電所敷地内のタンクで貯留いたします」「関係者の理解なしには、いかなる処分も行いません」との回答を得ている。海洋放出決定はこのときの約束を反故にするものである。

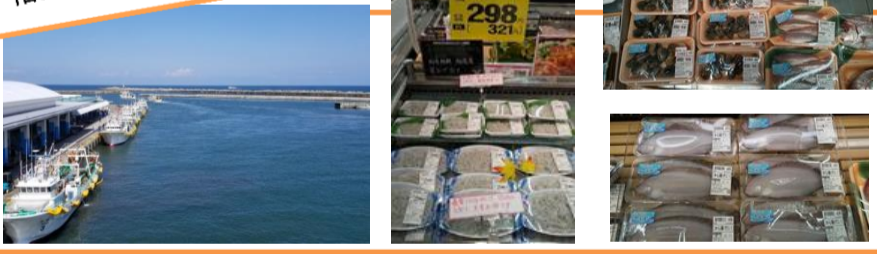
▶政府のご都合主義

2011年に事故を起こした福島第一原発は2012年に「特定原子力施設」に指定された。海洋放出は通常の原発でも行っていると強調する一方、特定施設だから通常の原発の目標値は適用されないなど、「特定原子力施設」が都合のいい使われ方をしている。「廃炉と復興の両立」が「廃炉に邪魔なものは排除する」という捉え方になっている。地域住民と周辺環境の安全確保を最優先しながら、迅速で確実なリスク低減を図り、廃炉終了までに処分を終える必要がある。



オンラインで福島から

・相馬の漁港と シラス・あさり・カレイ(コープいづみ)



▶漁業復興に向けて
試験操業で漁獲量を制限していたため、福島の海は資源が豊かになっている。増えた資源量を維持しエコラベル取得を目指す。"常盤もの"復活へ向けた取り組みも進み、手ごたえも感じている。

●ALPS処理水海洋放出については国民的議論を進めていくべき。
福島の漁業者だけで判断すべき問題ではなく、国民的議論を尽くし、国民の信頼を得たうえで判断し、責任を明確にすべき。傍観者のような意見ではなく、福島の復興も含めて自分に関わるものとして議論することが大切。大変なことが福島に凝縮している、それでいいのか。疑問、関心を持ち自分の身の回りからどのような取り組みを起していくことが必要なのか考えてほしい。

学習会の模様はchange.orgサイトで動画配信中です。
右記オンライン署名サイトにアクセスでご覧いただけます。

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>



・会場スタッフ池町さん・熊谷さんを挟んで林先生と野中本部長

【学習会を考えられている皆様へ】
学習会に関する問合せ・相談などお気軽に下記推進事務局にお寄せください。オンラインでの報告説明・意見交流などの調整も致します。(担当 穴戸)

<情報・お問い合わせ先>
みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いづみ店2F
Tel.024-557-1181 FAX557-5359 * mail :sn.f10243sn@todock.coop(根本)

<編集後記>erikoのつぶやき
誰でも自由に利用でき、誰でも自由に寄付ができるフードドライブ『みんなの倉庫』が、福島市の飲食店で広がりをみせています。先日『みんなの倉庫』にたくさんのコープ商品が並んでいました。店主に伺ったところ、すすくばこ(赤ちゃんの誕生祝い)のニュースを見た方がコープで商品を購入し、みんなの倉庫に寄付して下さったそうです。コープの取り組みを知った方がコープを応援、さらに必要としている方へ寄付...もう嬉し過ぎました。思いやりの連鎖が続く幸せ社会。温かい心に触れてますますパワーもりもりです。